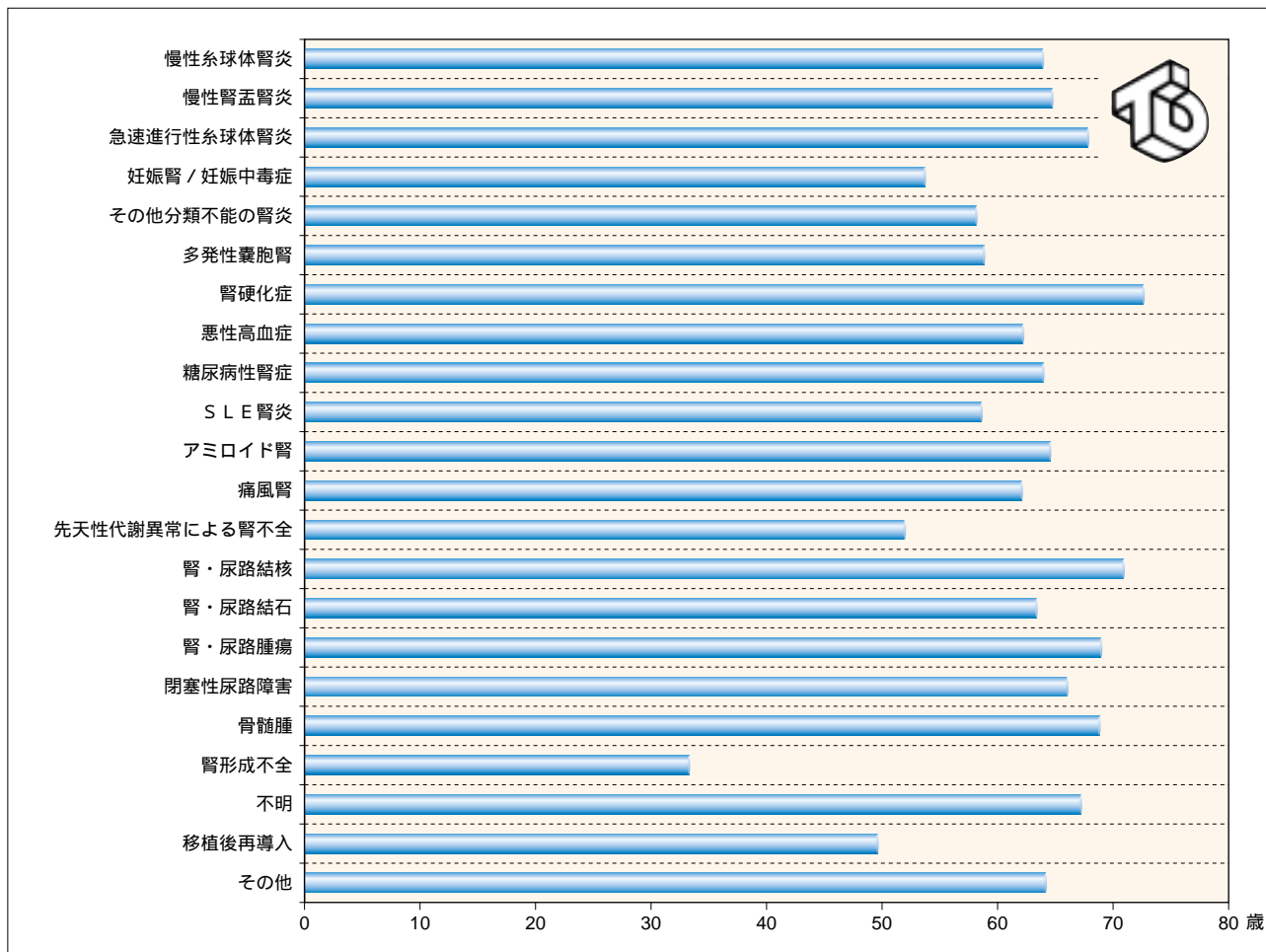


3) 導入患者の現状

(3) 導入患者の原疾患と平均年齢 (図表11)



解説

導入患者の原疾患別人数と平均年齢

2002年に透析療法に導入された原因疾患を%表示しました。今回も各疾患の%を表示する場合に、分母を従来の総患者数から記載なしを含まない合計に変更しています。前回より変更していますが、従来の値とごくわずかながら微妙に変化している点に留意ください。

原因疾患別に年齢との関係を見ると図のようになり、腎硬化症においてもっとも高年齢(72.63歳)であることが示されます。原因疾患の比率では糖尿病によるものが特に著しく39.1%、ついで慢性糸球体腎炎31.9%、腎硬化症7.9%と続きます。なお原因疾患が不明なものが近年増加しており、8.4%と第3位です。より詳細な原因を究明する必要性があり、今後の調査に期待します。